



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KSE 本牧ふ頭物流センター新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭9番	構造	SRC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	480 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年2月20日
敷地面積	6,911 m ²	作成者	東亜建設 白石
建築面積	4,314 m ²	確認日	
延床面積	19,925 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー性を持たせ、リサイクル材や耐用年数の高い建材を使用することで、環境に配慮した建物となっている。	その他 0
Q1 室内環境	音・光・空気質環境についてそれぞれ配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺との調和を図り、防犯性にも配慮している。
LR1 エネルギー	BEI 0.40	LR3 敷地外環境 充分な量の駐車スペースを確保している。 広告照明を設けていない。
Q2 サービス性能	耐用年数の高い建材を使用している。 階高や荷重にゆとりを持たしている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具を採用している。 リサイクル材や、有害物質が発生しない建材を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

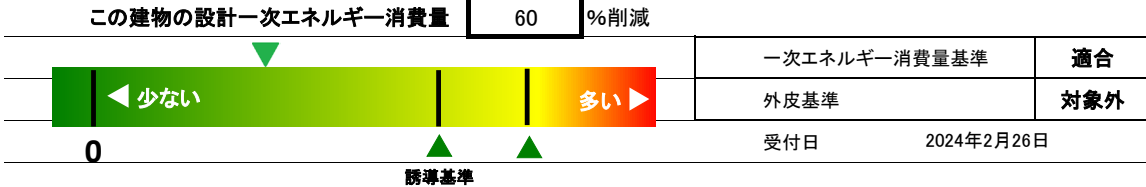


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)KSE 本牧ふ頭物流センター新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

照明器具は省エネ性能が良いものを採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

主要用途の配管の耐用年数 40年以上

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2
 (仮称)KSE 本牧ふ頭物流センター新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										3.2
1 音環境				3.2	0.15	-	-			3.2
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-			-
1	開口部遮音性能			3.0	0.60	-	-			-
2	界壁遮音性能			3.0	0.40	-	-			-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-			-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-			-
1.3 吸音				4.0	0.20	-	-			-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-			-
1	室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2	外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-			-
3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-			-
1	昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	-	-			-
2	方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
3	昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	-	-			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-			-
1	昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-			3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-			-
1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-			-
1	換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-			-
2	自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-			-
3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-			-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-			-
1	CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.4
1 機能性				3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-			-
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-			-
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-			-
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-			-
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	1.0	-			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1	耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2	免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-			-
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1	空調・換気設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2	給排水・衛生設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3	電気設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4	機械・配管支持方法	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5	通信・情報設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-			4.2
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-			-
1	階高のゆとり			5.0	0.60	-	-			-
2	空間の形状・自由さ			5.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2
 (仮称)KSE 本牧ふ頭物流センター新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-			1.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-			-
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.63	-	-			5.0
4 効率的運用				2.5	0.25	-	-			2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	2.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.8
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				4.0	0.60	-	-			4.0
2.1 材料使用量の削減				4.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.5
1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-			4.0
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-			3.5
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				4.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-			-